

災害時  
障害者支援



ハンドブック



# はじめに

柏市では、過去の大きな災害で、被災者の多くが高齢者や障害のある人などの災害弱者に集中していたことを踏まえ、地域の皆様に見守りや安否確認などをご協力いただいています。

このハンドブックは、障害のある人の支援を取りまとめたものです。ご自身の身の安全を第一優先に、地域の助け合いのネットワークで災害に強い、安心して暮らせる地域づくりにご活用ください。

## もくじ

---

■ はじめに	01
■ 1 地域の皆様へ	02
■ 2 災害時の通信手段	04
■ 3 障害のある人への支援	
■ 視覚障害のある人への支援	05
■ 聴覚障害、言語障害のある人への支援	06
■ 肢体不自由のある人への支援	07
■ 内部障害のある人への支援	09
■ 高次脳機能障害のある人への支援	10
■ 知的障害・発達障害のある人への支援	11
■ 精神障害のある人への支援	12
■ 参考資料	13

---

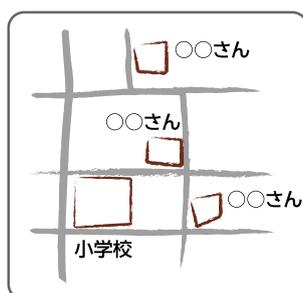
## 1

## 地域の皆様へ

事前にご確認を  
お願いします。

## 1 障害のある人が住んでいる場所をご存じですか？

- 災害時に支援を必要としている障害のある人がどこに住んでいるか、ご存じですか？
- 障害の状況をご存じですか？
- 家の入口や玄関をご存じですか？
- 地域における活動に、参加への声かけをしたことはありますか？



## 2 障害のある人の住んでいる家のまわりはどうですか？

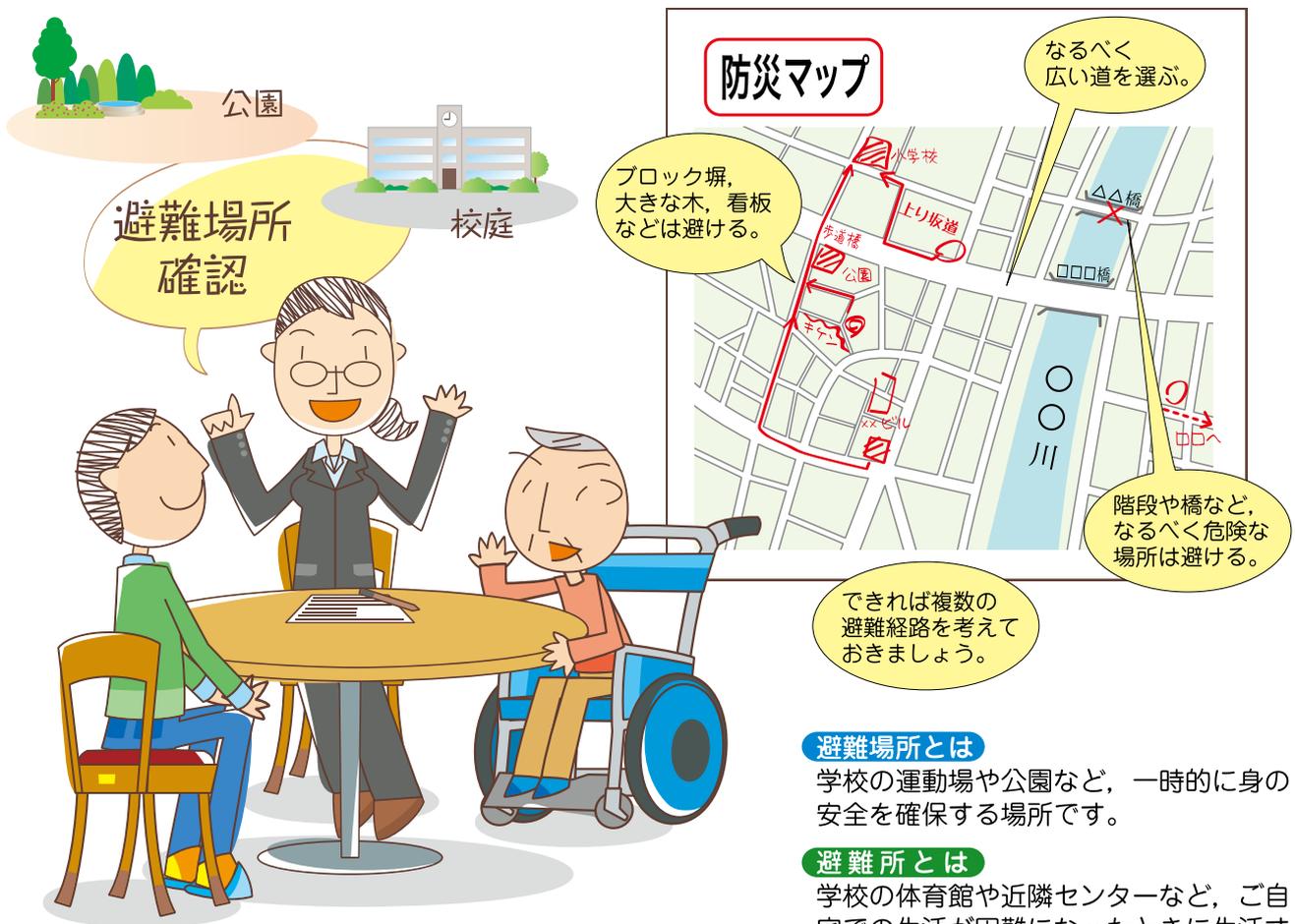
- 玄関から安全に避難できるようなスペースがありますか？
- 家の入口や玄関のまわりは片付いていますか？
- 集合住宅等では、階段に物が置いてありませんか？
- 身体に障害のある人の移動は、介助者一人では難しい場合があります。どなたか手伝ってくれる方はいますか？



事前にご確認を  
お願いします。

### 3 避難場所等は？

- 事前に障害のある人の避難場所の位置を確認しておきましょう。
- ご自身の避難場所と支援する障害のある人の避難場所が違うかもしれませんので、確認しておきましょう。
- 避難場所に行く途中、大きな木や高いブロック塀はありませんか？
- 避難場所までの安全なルートを知っていますか？
- 避難場所まで時間はどれくらいかかりますか？



#### 避難場所とは

学校の運動場や公園など、一時的に身の安全を確保する場所です。

#### 避難所とは

学校の体育館や近隣センターなど、ご自宅での生活が困難になったときに生活する場所です。

# 2

## 災害時の通信手段

### 災害用伝言ダイヤル

- N T T の災害用伝言ダイヤル（1 7 1）は、地震、噴火などの災害の発生により、被災地への通信が増加し、電話がつながりにくい状況になった場合に稼働される声の伝言板です。



### 災害用伝言板サービス

- 被災地域の居住者がインターネットを経由して伝言板サイトにアクセスし、伝言情報（文字等）の登録が可能な N T T の「web 1 7 1」や携帯電話などによる「災害用伝言板サービス」があります。



### 災害情報の収集

- 防災行政無線  
無線内容の確認 0120-280-131
- 市のホームページ  
<http://www.city.kashiwa.lg.jp/>
- かしわメール配信サービス  
登録は [kashiwacity@emp.ikkr.jp](mailto:kashiwacity@emp.ikkr.jp) へ空メールを送信してください。
- 柏市公式ツイッター  
[@kashiwa\\_shi](https://twitter.com/kashiwa_shi)



## 視覚障害 支援

のある人への

point

## 1 特徴

まわりの状況がわかりません



情報の入手が難しいです

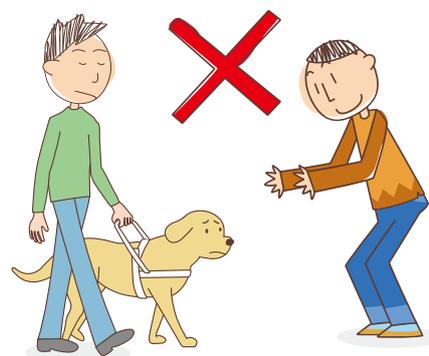
どなたかの支援がないと  
避難できません

point

## 2 支援の際の留意点

肩か腕をさわってもらい、  
半歩前をゆっくり歩いてください

盲導犬にはさわらないでください



- 誘導するときは、名前や性別を伝えてください。
- 避難中に目に入った情報を積極的に伝えてください。
- 平らな所でも方向を変えるときや階段・段差のあるときは、立ち止り声を出して教えてあげてください。
- 方向を示すときは説明を受ける人の正面を時計の12時の方向として、時計の文字盤と合わせた表現をお願いします。

# 聴覚障害, 言語障害

# 支援

のある人への

point

## 1 特徴

外見ではわかりません

聞こえにくかったり、  
聞こえない人がいます



言語障害のある人は自分の状況をうまく伝えることができません

point

## 2 支援の際の留意点

筆談で状況を伝える



- 肩を軽くたたくなどして注意を向けてから情報を伝えてください。
- 携帯電話やスマートフォンのメール機能や文字入力機能は情報伝達に有効です。
- 状況の変化に合わせて常に情報を伝えてください。
- 情報は手話や文字, 図などの視覚による情報が有効です。
- 50音指さし表などの使用も意思疎通に有効です。

## 肢体不自由

## 支援

のある人への

point

## 1 特徴

自力歩行や素早い避難行動が困難です



周囲の温度に応じた体温調節が苦手な人がいます

上肢や下肢、片側に機能障害がある人、脳性マヒの人がいます

発語の障害に加え自分の意思を伝えるにくい人がいます

point

## 2 支援の際の留意点

## 》杖の人の留意

ゆっくり誘導してください



## 》車いす介助のしかた

- ① 車いすを押すときは、ハンドグリップをしっかりと握り、ゆっくりと押します。
- ② 車いすから離れるときにはブレーキをかけます。
- ③ 上り坂のときは進行方向に前向き，急な下り坂のときは進行方向に後ろ向きになって進みます。(図1)
- ④ ゆるやかな下り坂は車いすを前向きにし，軽くブレーキをかけながらゆっくり下るようにします。(図2)

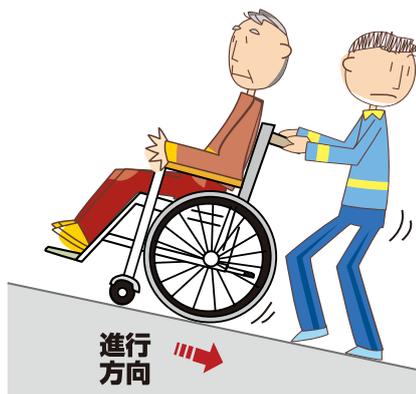
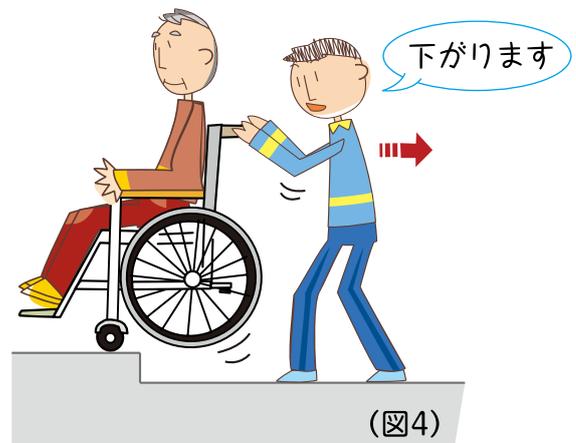
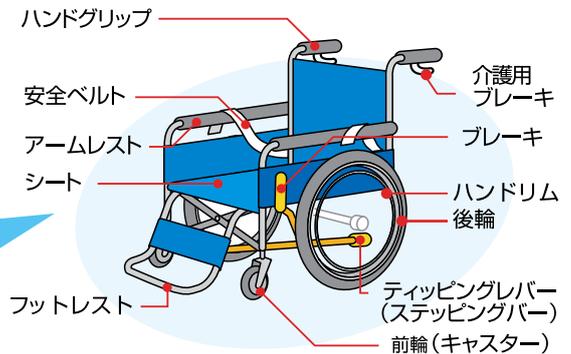


図1：急な下り坂の場合ブレーキをかけながら，ゆっくりと安全を確認しながら，後ろ向きに下る。

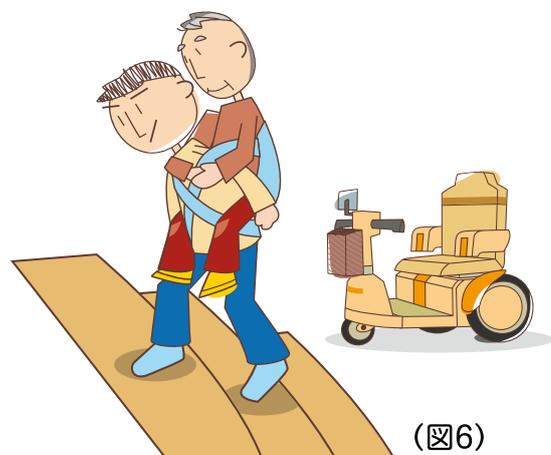
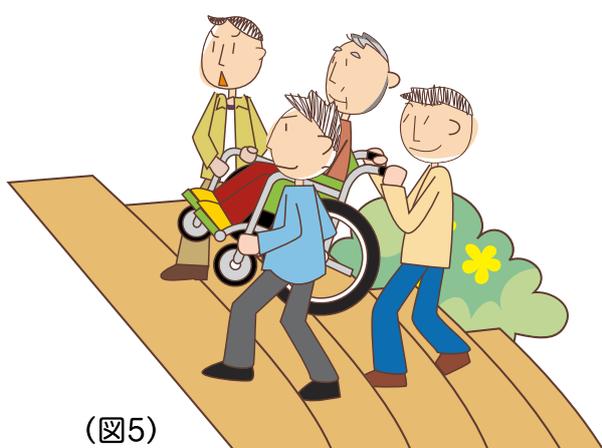


図2：ゆるやかな下り坂の場合軽くブレーキをかけながら，もしくは車いすを後ろに引っ張るようにしながらゆっくりと下る。

一般的な車いすの  
主要部分名称



- ⑤段差を上るときは、ティッピングレバー（ステッピングレバー）を踏み、ハンドグリップを押し下げて、前輪（キャスター）を段の上に乗せてから、後輪を段の上に押し上げます。前輪（キャスター）を上げるときは声をかけ、上げすぎないように注意します。（図3）
- ⑥段差を降りるときは、後ろ向きになって、まず後輪を降ろし、次に前輪を浮かせながら後ろに引き、前輪を降ろします。（図4）



- ⑦階段では、3～4人で運ぶのが安全です。上がる時は車いすを前向きに、降りるときは車いすを後ろ向きにするのが安全で恐怖感を与えません。いずれもブレーキをかけます。電動車いすは重いので、人と車いすは別で運んでください。（図5）
- ⑧人手がない場合はおんぶひもなどで一人で背負います。この際、両手には物を持たないようにして、両手を開けておきます。（図6）

## 内部障害

## 支援

のある人への

## 内部障害とは

心臓機能，呼吸器機能，腎臓機能，ぼうこう・直腸機能，小腸機能などの障害

point

## 1 特徴

自力歩行が難しかったり，素早い避難ができない人がいます



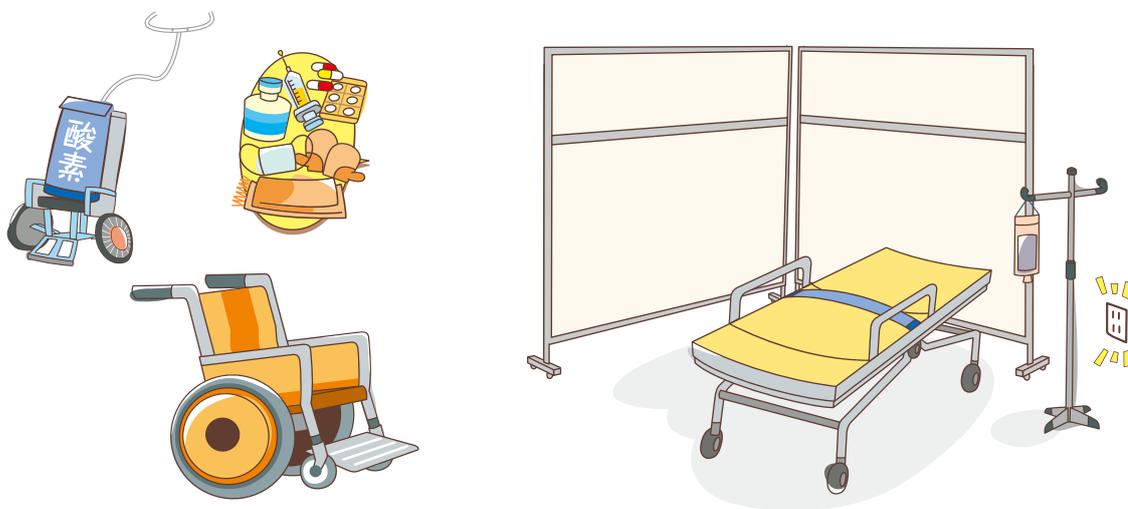
外見ではわかりにくいです

杖や車いす等の補助具が必要な人がいます

point

## 2 支援の際の留意点

常時利用している医療機器を確認するとともに，医薬品を携帯させてください



- 自力で避難することが困難な場合には，車いすやストレッチャー等の移動用具を活用してください。
- 避難所では，電源やケアのできるスペースの確保が必要です。

# 高次脳機能障害 支援

のある人への

point

## 1 特徴

情報を整理することが苦手です

なかなか新しいことを覚えられません



感情のコントロールが苦手です

すぐに忘れることもあるため、同じことを何度も聞きます

point

## 2 支援の際の留意点



避難所の説明や約束事など、メモで渡したり掲示するようにしてください。

- 説明はポイントを絞って、「ゆっくり」、「はっきり」、「具体的に」話してください。
- 危険な場所や周囲の状況をわかりやすい言葉で伝えてください。
- 記憶することが苦手なため、大切な説明や予定はメモに書いて渡してください。

## 知的障害・発達障害

## 支援

のある人への

point

## 1 特徴

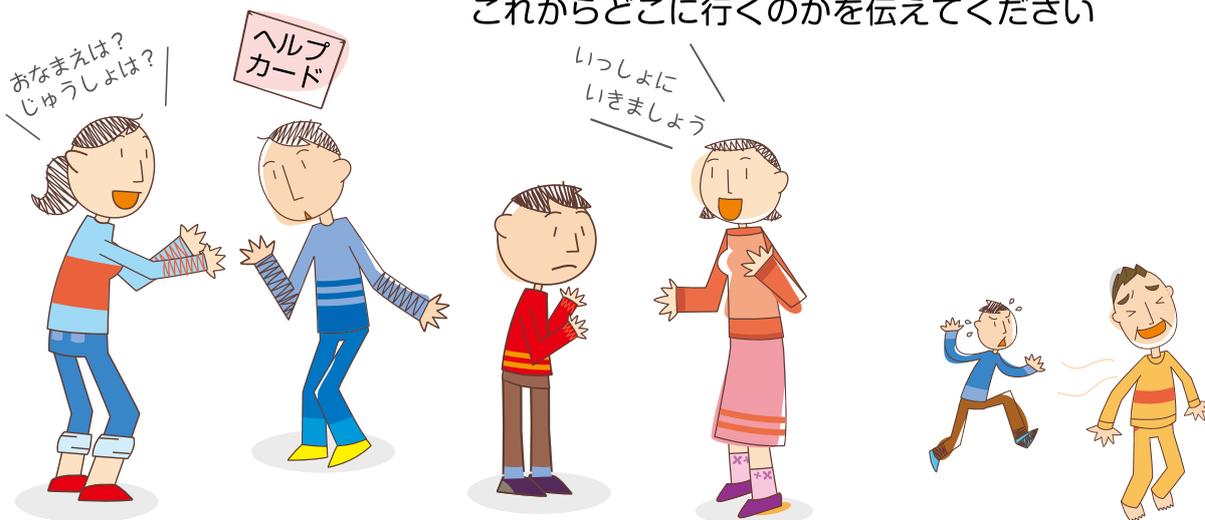
言葉での理解  
が苦手です人とのコミュニケーション  
が苦手です会話がオウム返しに  
なることがあります自分の意思を言葉で表  
現できない人がいます不安が強くなると  
パニックになるこ  
とがあります

point

## 2 支援の際の留意点

冷静な態度、優しい言葉を  
かけてください

これからどこに行くのかを伝えてください



- 正面に立って話しかけてください。
- すぐに身体に触れずに、少し様子を見てください。
- 名前や住所を聞いても答えられないときは、ヘルプカードなど緊急連絡先を記入したものを所持していないか確認してください。
- 一人でいるときは、どこかに行ってしまう恐れがあるので、注意してください。
- 騒音や集団が苦手ですので、避難スペース等に配慮してください。

# 精神障害 支援

のある人への

Point

## 1 特徴

外見からはわかりにくく、他人に知られたくないという人もいます

ストレスに弱く疲れやすいです

対人関係やコミュニケーションが苦手です

精神的な動揺が激しくなる場合があります

日常生活や社会生活のしづらさを感じています

なんとなく不安な感じ

どうしよう…

Point

## 2 支援の際の留意点

やさしく声をかけてください



- 一つ一つの質問に丁寧に答えてください。
- 服薬、薬の使用状況を確認してください。
- 他人の目を気にしないで服薬できる場所を確保してください。



# 参考資料

## 救急医療情報キットについて (柏市防災福祉K-Net登録者に配布しています)

障害のある人などが、災害や急病の際に駆け付けた救急隊員や医師による適切な処置を受けることができるよう、情報を専用の容器に入れ、自宅の冷蔵庫に保管していますので、支援時にはご確認ください。

記入年月日： 年 月

「救急医療情報登録票」

氏名	生年月日	取扱注意	
ふりがな	明治 大正 昭和 平成	性別	血液型
	年 月 日	男女	型
	( 歳 )		
電話番号	住 所		
( )	柏市		

「医療情報」

かかりつけ病院名①	②
受診科目・担当医	
所在地	
電話番号	
かかっている病気	
病歴	
服薬内容	
特記事項	・アレルギーの有無【有(具体的に： )・無】 ・障害の有無【有(身体・知的・精神)・無】

「緊急連絡先」

氏名	本人との関係	電話番号	住 所
①			
②			
③			
民生委員	担当者	電話番号	
支援事業者	名 称		
	担当者	電話番号	

防災福祉K-Netの情報  
・要援者登録の有無【有・無】  
・支援者の氏名等【 】

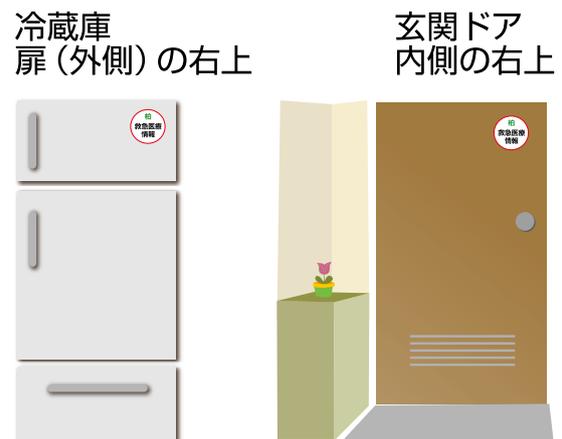
救急隊へ伝えたい事項(その他)

※登録の中には、かかりつけ病院の診療券の写し、薬剤情報提供書の写し、健康保険証の写しなどを一緒に入れておくと、病院への連絡がスムーズに行えます。

### 保管場所について



### ステッカー貼付場所



## 50音 指さし表

わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
を	り	ゆ	み	ひ	に	ち	し	き	い
ん	る	よ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う
?	れ	°	め	へ	ね	て	せ	け	え
小 文字	ろ	ゝ	も	ほ	の	と	そ	こ	お
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0

## 意思表示ボード

はい



いいえ



トイレ



いたい



のみたい



たべたい



ほしい



やめて



わからない



でんわ  
してください





災害が起きたときみんなで支えあうために

- ▶ 障害者に関すること  
障害福祉課 電話 04-7167-1136 (直通)
- ▶ K-Net全般に関すること  
保健福祉総務課 電話 04-7167-1131 (直通)
- ▶ 災害対応全般に関すること  
防災安全課 電話 04-7167-1115 (直通)